

SDGs/DX時代における 組合の可能性

～変わらぬ使命と役割から見える組合事業～

中小企業においても、経営基盤の強化と生産性向上に向けた取組や経済・社会の高度情報化に対応するためには、今後の経営にDXが不可欠との認識は定着してきましたが、具体的なアクションに繋がられないといった課題を多くの企業が抱えています。

特に事業協同組合等では、資金・人材の不足や手間・コストの増加等の要因により、SDGsやDXの取組が進められていない状況があります。そこで本会では、事業協同組合等の活力ある多様な成長のために欠かせないSDGsとDXをテーマにアーカイブセミナーをご案内します。

事業協同組合のSDGsやDXの推進を進めるにあたって、組合における取り組みや可能性についてお話いただきました。組合として今後のSDGsに必要な考え方や取組についてご確認ください。



講師

明治大学政治経済学部 専任教授 博士(経済学)

森下 正氏

1965年埼玉県川越市生まれ。89年明治大学政治経済学部卒業。94年同大学大学院政治経済学研究科経済学専攻博士後期課程単位取得・退学。94年同政治経済学部助手、96年専任講師、99年助教授を経て、2005年から専任教授。教授主任、地域行政学科長、経済学科長を歴任。専門は中小企業論。2003年から明治大学社会連携促進知財本部、同知的資産センター、同インキュベーションセンターの本部員、センター長を歴任し、地域産業活性化事業に注力。趣味は写真、産業観光。

視聴方法



本セミナーは下記URLもしくは二次元バーコードからご視聴いただけます。

URL <https://www.youtube.com/watch?v=v-44A2g5rJY>



セミナー内容

はじめに

～SDGsとはいうけれど、
企業経営および組合事業の真の目的とは～

- ① **ポスト・コロナ後の新パラダイム**
 - ①SDGsの時代→社会的責任の範囲拡大
 - ②AI/IoT/DXとネット社会の到来
- ② **中小企業組合の発展に必要な視点**
 - ①持続的発展を保証する3つのキーワード
 - ②求められる報徳の精神
 - ③現代版三方よし経営の視点
 - ④共同事業で今後、実践したい(すべき)こと
- ③ **組合の持続的発展に必要な具体策**
 - ①教育情報事業を通じた従業員重視志向の実現
 - ②福利厚生事業を通じた従業員重視志向の実現
 - ③共同購入事業を通じた仕入先重視志向の実現
 - ④共同受注・販売を通じたお客様重視志向の実現
 - ⑤環境対応事業を通じた地球・社会環境重視の実現
 - ⑥地域(市民)密着事業で組合員の経営安定化の実現
- ④ **持続的発展に必須の組合理念の構築を**
 - ①理念と目的は別のもの
 - ②基本理念の有無と経済活動の成果の違い
 - ③基本理念の作り方

視聴方法



本セミナーは左記の二次元バーコードから
ご視聴いただけます。



お問合せ

滋賀県中小企業団体中央会 (振興課/望月 宛)

TEL 077-511-1430 ✉ mochizuki@chuokai-shiga.or.jp